



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月26日

上場会社名 株式会社 小糸製作所
 コード番号 7276 URL <https://www.koito.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 2023年2月3日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 加藤 充明
 (氏名) 小長谷 秀治
 TEL 03-3443-7111

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	635,488	15.0	32,157	16.1	32,914	23.9	21,665	21.1
2022年3月期第3四半期	552,397	10.6	38,325	12.3	43,263	16.9	27,463	25.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 32,629百万円 (17.8%) 2022年3月期第3四半期 39,701百万円 (19.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	67.39	67.37
2022年3月期第3四半期	85.43	85.41

(注) 2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	861,774	650,018	70.9	1,899.33
2022年3月期	855,237	627,315	69.1	1,838.24

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 610,620百万円 2022年3月期 590,958百万円

(注) 2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		24.00		30.00	54.00
2023年3月期		24.00			
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

(注3) 2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。配当金の額は、当該株式分割前の実績を記載しております。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	864,000	13.6	47,000	12.0	48,500	20.0	32,000	16.5	99.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注2) 2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、株式分割後の金額を表示しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	321,578,872 株	2022年3月期	321,578,872 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	86,424 株	2022年3月期	97,810 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	321,488,078 株	2022年3月期3Q	321,477,496 株

(注)2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2023年3月期通期業績予想における前提為替換算レートは、1ドル=135.1円、1元=19.6円として算出しております。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2023年2月10日に証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、同日までに当社ホームページに掲載する予定です。

(参考) 2023年3月期の個別業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	299,000	1.5	13,500	△ 24.0	32,500	△ 15.4	27,000	16.1	83	98

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

(注2) 2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、株式分割後の金額を表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国及び海外の経済情勢は、長引くコロナ禍からの正常化に向けた動きが見られる一方、急速な物価高騰や為替変動等もあり、景気回復は鈍く、先行き不透明な状況で推移いたしました。

世界自動車生産台数は、コロナや半導体需給ひっ迫の影響から日本・中国を中心として、未だに生産停止や休止が頻発しており、緩やかな回復に留まりました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は、日本・中国では減収となりましたが、北米・アジア等の生産回復、新規受注に加え為替換算の影響等により、連結では前年同期に比べ15.0%増収の6,354億円となりました。

利益につきましては、改善合理化を推進したものの、世界的な原材料費や物流費・光熱費など諸費用の高騰、北米・欧州を中心とした雇用情勢ひっ迫による人件費増加、日本・中国での急激な生産変動等により、営業利益は前年同期比16.1%減の321億円、経常利益は同23.9%減の329億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同21.1%減の216億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

ー 1. 資産、負債、純資産に関する分析

当第3四半期末の資産の残高は、設備投資により有形固定資産が増加したこと等から、前期末に比べ65億円増加の8,617億円となりました。

負債の残高は、借入金が増加したこと等から、前期末に比べ161億円減少の2,117億円となりました。

純資産の残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したこと等から、前期末に比べ227億円増加の6,500億円となりました。

ー 2. キャッシュ・フローに関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益363億円、減価償却費300億円を主体に557億円となり、法人税等を支払った結果、445億円（前年同期は452億円）の資金を確保いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入1,070億円に対し、定期預金の預入による支出1,165億円、設備投資276億円等を実施した結果、443億円の支出（前年同期は322億円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金等の支払い96億円等を実施した結果、192億円の支出（前年同期は77億円の支出）となりました。

以上により、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ187億円減少の1,507億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の売上につきましては、半導体需給ひっ迫等により日本や中国での生産回復が遅れているものの、新規受注や他地域での自動車生産回復に加え為替換算影響等から前期に対し増収となる予想であります。

利益につきましては、費用高騰に対する各地域での回収・原価低減活動や、北米事業における人員適正化・生産性向上など、合理化活動の効果を見込むものの、日本・中国での固定費負担増加の影響により、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益の各利益において、前期に対し減益を予想しております。

なお、10月27日付の「2023年3月期第2四半期決算短信」にて公表いたしました2023年3月期通期の業績予想（連結・個別）につきましては、直近の業績動向、及び当第3四半期に固定資産売却益を特別利益に計上したこと等を踏まえ、以下の通り修正しております。

連結業績予想

(百万円未満切捨て)

2023年3月期 通期(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	885,000	53,500	58,000	29,500	91 76
今回予想(B)	864,000	47,000	48,500	32,000	99 54
増減額(B-A)	△21,000	△6,500	△9,500	2,500	—
増減率(%)	△2.4	△12.1	△16.4	8.5	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	760,719	53,434	60,613	38,340	119 27

(参考) 個別業績予想

2023年3月期 通期(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	308,000	15,500	36,500	21,000	65 32
今回予想(B)	299,000	13,500	32,500	27,000	83 98
増減額(B-A)	△9,000	△2,000	△4,000	6,000	—
増減率(%)	△2.9	△12.9	△11.0	28.6	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	294,463	17,760	38,416	23,253	72 33

(注) 当社は、2022年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
上記1株当たり当期純利益は、当該株式分割が2022年3月期の期首に行われたと仮定して算出しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	323,943	315,757
受取手形	3,797	2,111
電子記録債権	9,888	9,193
売掛金	113,437	110,177
契約資産	918	2,363
棚卸資産	90,760	94,508
その他	36,723	39,411
貸倒引当金	△382	△594
流動資産合計	579,086	572,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	55,831	55,477
機械装置及び運搬具（純額）	75,334	78,670
工具、器具及び備品（純額）	17,453	18,725
土地	16,181	16,238
建設仮勘定	17,054	16,840
その他	752	4,501
有形固定資産合計	182,608	190,453
無形固定資産	3,103	2,756
投資その他の資産		
投資有価証券	73,856	77,063
破産更生債権等	16	14
繰延税金資産	10,863	12,807
退職給付に係る資産	2,804	2,793
その他	3,034	3,090
貸倒引当金	△136	△134
投資その他の資産合計	90,438	95,635
固定資産合計	276,150	288,845
資産合計	855,237	861,774

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	102,641	98,538
電子記録債務	5,050	3,525
短期借入金	24,531	15,529
未払費用	23,781	21,580
未払法人税等	7,319	4,219
契約負債	1,872	1,591
賞与引当金	5,527	3,709
製品保証引当金	3,108	4,754
その他	7,573	9,333
流動負債合計	181,404	162,782
固定負債		
長期借入金	490	—
繰延税金負債	15,473	17,129
役員退職慰労引当金	298	309
製品保証引当金	5,151	4,608
環境対策引当金	10	0
退職給付に係る負債	23,097	22,306
その他	1,995	4,619
固定負債合計	46,517	48,973
負債合計	227,922	211,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金	13,399	13,420
利益剰余金	509,958	522,943
自己株式	△49	△44
株主資本合計	537,578	550,591
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,560	22,451
為替換算調整勘定	27,924	35,959
退職給付に係る調整累計額	1,895	1,618
その他の包括利益累計額合計	53,379	60,029
新株予約権	199	171
非支配株主持分	36,157	39,226
純資産合計	627,315	650,018
負債純資産合計	855,237	861,774

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	552,397	635,488
売上原価	482,472	567,537
売上総利益	69,924	67,950
販売費及び一般管理費	31,598	35,793
営業利益	38,325	32,157
営業外収益		
受取利息	980	1,259
受取配当金	1,088	1,191
為替差益	898	—
投資事業組合運用益	899	—
その他	2,290	2,189
営業外収益合計	6,157	4,640
営業外費用		
支払利息	513	779
持分法による投資損失	473	544
為替差損	—	1,298
その他	233	1,261
営業外費用合計	1,219	3,883
経常利益	43,263	32,914
特別利益		
固定資産売却益	38	11,994
その他	—	187
特別利益合計	38	12,181
特別損失		
固定資産除売却損	358	685
投資有価証券評価損	3	7,130
減損損失	—	609
災害損失	—	321
特別損失合計	362	8,746
税金等調整前四半期純利益	42,939	36,349
法人税等合計	13,020	11,437
四半期純利益	29,918	24,912
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,463	21,665
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,454	3,246

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,410	△1,089
為替換算調整勘定	7,691	9,043
退職給付に係る調整額	△340	△276
持分法適用会社に対する持分相当額	20	41
その他の包括利益合計	9,782	7,717
四半期包括利益	39,701	32,629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,414	28,315
非支配株主に係る四半期包括利益	2,286	4,314

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	42,939	36,349
減価償却費	25,821	30,010
減損損失	—	609
持分法による投資損益(△は益)	473	544
貸倒引当金の増減額(△は減少)	80	218
退職給付に係る資産・負債の増減額(△は減少)	△1,104	△847
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,121	△1,795
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△36	1,136
受取利息及び受取配当金	△2,069	△2,451
受取損害賠償金等	—	△187
支払利息	513	779
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	3	7,287
有形固定資産除売却損益(△は益)	320	△11,308
災害損失	—	321
売上債権の増減額(△は増加)	13,872	6,665
棚卸資産の増減額(△は増加)	△10,181	△3,089
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△4,492	5,140
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,181	△6,880
未払費用の増減額(△は減少)	△66	△3,226
その他	△5,063	△3,532
小計	54,707	55,743
利息及び配当金の受取額	2,066	2,448
利息の支払額	△513	△779
独禁法関連損失の支払額	—	△68
損害賠償金等の受取額	—	187
法人税等の支払額	△10,994	△12,990
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,266	44,541
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△91,796	△116,527
定期預金の払戻による収入	86,189	107,041
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△5,248	△13,205
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	0	—
有形固定資産の取得による支出	△21,065	△27,617
有形固定資産の売却・除却による収支(△は支出)	388	12,313
貸付けによる支出	△4	△5,801
貸付金の回収による収入	6	4
その他	△737	△603
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,267	△44,395

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,668	△9,043
長期借入れによる収入	332	—
長期借入金の返済による支出	△342	△635
自己株式の取得による支出	△1	△1
ストックオプションの行使による収入	0	0
親会社による配当金の支払額	△8,419	△8,418
非支配株主への配当金の支払額	△992	△1,198
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,755	△19,297
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,046	353
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,290	△18,797
現金及び現金同等物の期首残高	161,855	169,581
現金及び現金同等物の四半期末残高	168,145	150,783

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第842号「リース」の適用)

米国会計基準を採用している海外関係会社において、ASC第842号「リース」を第1四半期連結会計期間より適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することといたしました。

当該会計基準の適用に伴い、当第3四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表において、有形固定資産のその他が3,633百万円、流動負債のその他が577百万円、固定負債のその他が3,056百万円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結損益及び包括利益計算書に与える影響は軽微です。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	日本	北米	中国	アジア	欧州	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注) 3
売上高									
外部顧客への売上高	231,659	132,310	79,879	77,475	24,474	6,597	552,397	—	552,397
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,371	5	2,542	2,911	138	△0	26,968	(26,968)	—
計	253,030	132,315	82,421	80,387	24,612	6,597	579,366	(26,968)	552,397
セグメント利益又は損失(△)	22,758	266	9,805	6,724	△2,241	61	37,373	952	38,325

(注) 1. セグメント利益又は損失（営業利益）の調整額952百万円には、セグメント間取引消去4,904百万円及び配賦不能営業費用△3,952百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米 …米国、メキシコ
- (2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド、マレーシア
- (3) 欧州 …英国、チェコ
- (4) その他…ブラジル

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	日本	北米	中国	アジア	欧州	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注) 3
売上高									
外部顧客への売上高	227,034	185,091	75,366	108,004	30,791	9,201	635,488	—	635,488
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,312	51	1,608	2,889	47	—	22,909	(22,909)	—
計	245,346	185,142	76,974	110,893	30,839	9,201	658,397	(22,909)	635,488
セグメント利益又は損失(△)	14,889	△10	4,226	10,489	△121	633	30,106	2,050	32,157

(注) 1. セグメント利益又は損失（営業利益）の調整額2,050百万円には、セグメント間取引消去6,187百万円及び配賦不能営業費用△4,136百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1)北米 …米国、メキシコ

(2)アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド、マレーシア

(3)欧州 …英国、チェコ

(4)その他…ブラジル

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。